令和 6 年度第 3 回 茨城支部評議会　議事概要（速報）

開　催　日	令和 7 年 1 月 14 日　火曜日　　10：00～12：00
開 催 場 所	水戸セントラルビル　4 階　会議室
出 席 評 議 員	※はオンライン出席
潮田評議員、岡本評議員、角田評議員、柴田評議員、中根評議員、谷萩評議員、葉評議員※（五十音順）	
事　務　局	
支部長、企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長、保健グループ長、業務グループ長、レセプトグループ長、企画総務主任、企画総務スタッフ	
議　　題	
１．令和 7 年度保険料率について ２．令和 7 年度茨城支部事業計画（案）について ３．令和 7 年度茨城支部保険者機能強化予算（案）について	
議 事 概 要 （主な意見等）	

１．令和 7 年度保険料率について

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【学識経験者 A】
準備金が積みあがっているが、仮に取り崩すケースがあるのか伺いたい。

【事務局】
まずは基本的に法令で確保することが義務づけられた準備金があるため、それを取り崩して何か取組を実施することはできない。一時的に医療費が上がる等、収支差がマイナスになった場合は、取り崩すが、準備金は協会けんぽ全体の財政状況により決められているため、支部独自の判断で取り崩すケースはない。

【事業主代表 B】
平均保険料率 10%はいつまで維持できる予定なのか伺いたい。

【事務局】
平均保険料率の上限は決まっていなく、現状平成 24 年度から 10%を維持しているが 10%が限界だと考えているため、今後もこの 10%を維持できるよう事業に取り組みたいと考えている。

２．令和 7 年度茨城支部事業計画（案）について

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【学識経験者 C】
①健康保険証の廃止により、協会けんぽ加入者である認識が低くなることが予想されるが、それに対して対策はどのようにしていくのか伺いたい。
②健康づくりについては協会けんぽだけでなく、各自治体も同様に取り組んでいると思うが、関係団体との連携について伺いたい。

【事務局】
①本部としてもブランディング戦略は考えており、ロゴマーク作成等の検討はしているところである。その他加入者に分かりやすく情報を発信できるよう新たに LINE 広報を開始し、今後は HP リニューアルも予定している。
②まずは水戸市と協定締結していて 3 月に健康づくりセミナーを実施予定である。そのほかコラボヘルスの実施を中心に茨城県や各自治体、県内 8 商工会議所等と連携して、各種取組ができるよう模索中である。また国民健康保険運営協議会に参加し、事業内容の共有を行っている。

【被保険者代表 D】
健康教育の具体的な実施について伺いたい。

【事務局】
教育委員会を通して、実施可能な小学校を訪問し、小学 5.6 年生を対象に健康教育を実施する予定である。

【学識経験者 E】
目標として国から示されているジェネリック医薬品使用割合と現状の茨城支部使用割合を金額ベースで伺いたい。

【事務局】
示されている目標は令和 11 年度末までに 65%以上、茨城支部は 54.2%（令和 6 年 3 月診療分）である。

【被保険者代表 F】
①資格取得等の手続き後にマイナ保険証として使用できるようになるタイミングが分かりにくいため、ホームページ上で、加入者が直接資格情報を確認できると良い。また資格取得通知とのタイムラグがなくなると良い。
②LINE 公式アカウントの配信回数を伺いたい。

【事務局】
①日本年金機構で資格取得届処理後、3～4 営業日で協会けんぽに情報が反映される。申請されてから

およそ 10 日で医療機関でも資格確認ができる。
②11 月以降、月 2 回のペースで配信を行っている。タイムリーに配信できることが LINE のメリットでもあるため、保険料率が決定される等、緊急性がある場合は適宜追加配信も行っていく予定である。

【学識経験者 G】
公式 LINE の登録者数はどのように増やしていくのか伺いたい。

【事務局】
定型の広報媒体等で既に実施しているが、QR コードを用いて気軽に登録できるよう発信していく予定である。

特　記　事　項
・次回は、令和 7 年 7 月に開催予定